

三重県沿岸重要資源の資源評価

精度の高い資源評価によって効果的な資源管理へ

効果の高い水産資源の資源管理体制の実現を図るため、三重県沿岸重要資源20魚種の漁獲データを収集・解析し、資源評価を実施しました。資源評価とあわせて、各魚種の成長や回遊などの基本的な生物情報・生態情報の収集・蓄積を行っており、効果的な資源管理へつなげることが重要です。

魚種	資源水準	資源動向	評価に用いたデータ
サワラ	高位	減少	漁獲量(主要地区漁獲量)(2003年~2018年)、和具浦地区一本釣りCPUE(2012年~2018年)
イカナゴ	低位	減少	資源量(夏眠魚尾数、漁期前仔魚密度)(1993年~2019年)
イセエビ	高位	横ばい	漁獲量(漁業・養殖業生産統計年報)(1960年~2018年)、主要地区刺し網CPUEデータ(2011年~2018年)
アワビ類	クロアワビ	中位	資源量(鳥羽市主要地区)(1997年~1994年、2008年~2019年)
	赤アワビ	低位	
サザエ	中位	増加	漁獲量(漁業・養殖業生産統計年報)(1970年~2018年)、主要地区海女漁CPUEデータ(2011年~2018年)
アサリ	鈴鹿地区	低位	漁獲量(鈴鹿市漁協の小型機船底びき網(噴射ポンプ):2004年~2019年)、漁獲量(松阪漁協のじょれんの漁獲量:2003年~2019年)
	松阪地区	横ばい	
ハマグリ	中位	減少	資源量(主要地区のVPA)(2001年~2018年)
マダイ	中位	横ばい	漁獲量(漁業・養殖業生産統計年報)(1956年~2019年)、答志市場の刺し網CPUE(2016年~2019年)
ヒラメ	高位	増加	漁獲量(鳥羽磯部漁協)(2003年~2019年)、答志市場の刺し網CPUE(2016年~2019年)
イサキ	低位	減少	漁獲量、標準化CPUE(三重県ブリ定置漁獲統計)(1996年~2019年)
スズキ	高位	増加	CPUE(有滝地区小型底びき網)(2001年度~2019年度)
マアナゴ	低位	横ばい	CPUE(有滝地区小型底びき網)(1989年~2019年)
クルマエビ	高位	増加	CPUE(有滝地区小型底びき網)(1994年~2019年)
ヤマトシジミ	低位	減少	CPUE(桑名地区小型底びき網)(2001年~2019年)
カサゴ	低位	減少	漁獲量(主要漁獲地区の漁獲量)(2003年~2019年)、答志地区の刺し網CPUE(2015年~2020年)
カマス類	ヤマトカマス	中位	CPUE(定置網の主要漁場)(2005年~2020年)
	アカカマス	中位	
タチウオ	中位	横ばい	CPUE(定置網の主要漁場)(2004年~2020年)
ガザミ	高位	増加	CPUE(有滝地区の小型底びき網)(2007年~2020年)
マダコ	低位	横ばい	漁獲量(漁業・養殖業生産統計年報)(1956年~2020年)、答志地区のタコ壺のCPUE(2015年~2020年)
マナマコ	赤ナマコ	低位	漁獲量(鳥羽市:1970年~2006年は地区別統計、2006年~2020年は漁協集計データ)
	青・黒ナマコ	低位	

三重県沿岸重要資源20魚種の資源評価結果

資源評価対象種20種のうち、資源水準が「高位」と評価されたのは6種(サワラ、イセエビ、ヒラメ、スズキ、クルマエビ、ガザミ)、「中位」と評価されたのは5種(サザエ、ハマグリ、マダイ、カマス類(ヤマトカマスおよびアカカマス)、タチウオ)、「低位」と評価されたのは8種(イカナゴ、アサリ、イサキ、マアナゴ、ヤマトシジミ、カサゴ、マダコ、マナマコ)でした。また、アワビ類はクロアワビで「中位」、赤アワビで「低位」でした。資源水準が高位で、資源動向が横ばい~増加傾向にある資源状態が良好な資源はイセエビ、ヒラメ、スズキ、クルマエビ、ガザミの5種、一方で、資源水準が低位で、資源動向が横ばい~減少傾向にある資源状態の悪い資源はイカナゴ、アワビ類(赤アワビ)、アサリ、イサキ、マアナゴ、ヤマトシジミ、カサゴ、マダコ、マナマコの9種でした。



三重県水産研究所 資源管理・海洋研究課

Mie Prefecture Fisheries Research Institute

〒517-0404 志摩市浜島町浜島3564-3

TEL (0599)53-0130

FAX(0599)53-2225

(2022年3月発行)